

北海道新幹線開業による 道南域の水産業・農業の 活性化シンポジウム

平成
23年

2月23日(水) 13:30~16:30

北斗市総合文化センター
かなでーる
北斗市中野通2丁目13番1号
電話0138-74-2000

平成22年12月に東北新幹線が新青森駅までの開業を迎え、平成27年度には北海道新幹線が道南の新函館（仮称）駅まで開業される予定です。

現在では、新幹線は旅客専用として考えられています。しかし、道南域は水産業と農業を主産業としており、現在、それら生産物はトラック輸送により青函フェリーと高速道路で首都圏へ輸送されていますが、多くの時間を要しています。新鮮さを必要とする生鮮魚介類、野菜及び果物をすぐ首都圏に輸送できれば大きな経済効果が生まれ道南域の活性化を図ることが出来ます。

北海道新幹線が開業されると道南・東京間に新しい交通体系が出現します。これら新幹線の車両の一部を利用して水産物や農産物を輸送した場合、大きな経済波及効果があります。また、これらの食材を通じて北海道観光への誘因効果も期待できます。

このような新幹線を活用した地域の水産業と農業の活性化の可能性を検討するシンポジウムです。

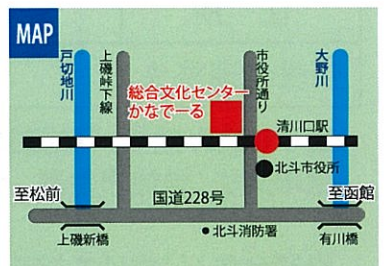
プログラム

- 13:30 ~ 開会挨拶
NPO法人水産物トレーサビリティ研究会 理事長 **三上 貞芳**
- 13:35 ~ 基調講演「新幹線と貨物輸送のベスト・ミックスについて」
北海道商科大学 教授 **佐藤 馨一**
- 14:30 ~ 実証実験等報告「新幹線による道南域生鮮水産物販売実験等報告」
公立ほこだて未来大学 教授 **長野 章**
- 15:00 ~ 休 憩 (10分)
- 15:10 ~ 総合討論
●話題提供 (30分) : 「水産業・農業から新幹線を考える」
北海道大学大学院水産科学研究院 客員教授 **渡辺 好明**
●討 論 (40分) : JR北海道 運輸部 専任課長 **森 雅裕**
北海道フードフロンティア(株) 常務 **佐藤 厚**
(社)北海道商工会議所連合会 政策・企画部 部長 **石井 義康**
北海道新幹線新函館開業対策推進機構 **黒川 宣之**
(株)水産経済新聞社 記者 **石本 竜大**
- 16:20 ~ 総 括
北海道商科大学 教授 **佐藤 馨一**
北海道大学大学院水産科学研究院 客員教授 **渡辺 好明**
- 16:30 ~ 閉会挨拶
公立ほこだて未来大学 教授 **長野 章**



参加申込み・お問い合わせ

主 催:NPO法人水産物トレーサビリティ研究会
共 催:北海道大学大学院水産科学研究院 水産総合基盤システム科学分野
後 援:公立ほこだて未来大学、北海道渡島総合振興局、北斗市、函館市、
函館国際水産・海洋都市推進機構、北斗市地産地消推進協議会、
函館商工会議所、函館水産物商業協同組合
申込・問い合わせ:参加費無料 裏面にご記入の上、下記までFAXにて申込み下さい
北海道大学大学院水産科学研究院 (担当) 本松 敬一郎
FAX:0138-40-5631、TEL:0138-40-5630



新幹線による道南域生鮮水産物販売実験

午前6時に函館魚市場で水揚げされた生簀イカ、活ホタテ、活ホッキを午前7時までに調理し、在来線と新青森駅からの東北新幹線で東京に搬送したものです。

(写真はイメージです)



北海道より直送



生簀イカ



活ホッキ



活ホタテ

平成27年に予定されている北海道新幹線開業に伴い、新鮮な水産物や農産物を小口荷物として北海道から東京へ輸送すると大きな経済波及効果があり、北海道の水産業や農業の活性化に大きく貢献することが期待されます。

水産物では、イカやホタテ、ホッキ貝そして農畜産物ではトウモロコシ、乳製品などが考えられ、平成21年の公立はこだて未来大学の調査では、新函館駅(仮称)始発と最終便の2便の新幹線の一車両を利用するだけで道南地域のGDPが約20億円になることが分かりました。

今回の調査では、新鮮な函館市のイカ、北斗市のホタテとホッキ貝を東京に運ぶ販売実験を行いました。



平成21年度に輸送・販売の実験を行った際のお弁当

シンポジウム参加申込書

下記に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込ください。

FAX 0138-40-5631

団体名	
氏名	
氏名	
氏名	
氏名	
氏名	
氏名	
住所	
代表者連絡先	

■申し込み期限:平成23年2月21日(月)

■申込先:参加費無料 北海道大学大学院水産科学研究院 (担当) 本松 敬一郎

FAX:0138-40-5631、TEL:0138-40-5630

■問合せ先:公立はこだて未来大学 長野 章 TEL:090-2441-3617